

〔著 訳 者 紹 介〕

(掲載順)

阿久戸 光晴 あくど・みつはる

学校法人聖学院理事長兼院長。聖学院大学教授。

1951年生まれ。一橋大学社会学部・法学部卒。住友化学工業株式会社勤務を経て、東京神学大学博士課程前期修了後、米国エモリー大学神学部大学院ほかに学ぶ。その傍ら聖学院大学および聖学院アトランタ国際学校開設業務を担当。その後、聖学院大学宗教主任兼助教授、聖学院大学学長を経て現職。その他、日本聖書協会新翻訳事業検討委員、荒川区不正防止委員会委員長など。

〔著書〕『近代デモクラシー思想の根源』、『説教集 新しき生』、『ヴェーバー・トレルチ・イエリネック』(共著)、『神を仰ぎ、人に仕う』(共著)、『キリスト教学校の形成とチャレンジ』(共著)、*The Church Embracing the Sufferers, Moving Forward: Centurial Vision for Post-disaster Japan: Ecumenical Voices* (共著)、『専制と偏狭を永遠に除去するために——主権者であるあなたへ』、ほか多数。

藤原 淳賀 ふじわら・あつよし

青山学院大学地球社会共生学部教授・宗教主任。

玉川大学文学部教育学科卒業、慶應義塾大学大学院社会学研究科教育学専攻卒業、米国ゴールデン・ゲート・バプテスト神学大学院卒業(M.Div.)、英国ダラム大学大学院卒業(Ph.D.)。東京基督教大学専任講師、聖学院大学総合研究所准教授、教授、同大学・大学院教授を経て現職。元慶應義塾大学特別招聘講師。日本バプテスト連盟・恵約宣教伝道所にて牧会に従事(非常勤)。

〔論文・著書〕*Theology of Culture in a Japanese Context: A Believers' Church Perspective*, Princeton Theological Monograph Series (Eugene, OR: Pickwick); “The Challenge of Yoder and Hauerwas' Theology in the Japanese Context.” 『ジョン・H・ヨーダーの神学——平和をつくり出す子羊の戦い』(共著)、『愛に生きた証人たち——聖書に学ぶ』(共著) 他。

〔訳書〕アリスター・E・マクグラス編『キリスト教神学資料集(上・下)』(翻訳者代表)、アリスター・E・マクグラス(述)『聖餐——その歴史と実践』他。

ウィルバート・R・シェンク Wilbert R. Shenk

フラー神学大学院異文化学研究科、宣教史と現代文化学主任教授。

ゴシェン大学 (B.A.), オレゴン大学大学院 (M.A.), アバディーン大学大学院 (Ph.D.)。メノナイト・ボード・オブ・ミッション・海外ミニストリー部部長, アソシエイティッド・メノナイト・ビブリカル神学大学院宣教学助教授・ミッション・トレーニングセンター長等を経て現職。

〔著書〕 *North American Foreign Missions, 1810–1914: Theology, Theory, and Policy* (2004), *Enlarging the Story: Perspectives on Writing World Christian History* (2002), *By Faith They Went Out: Mennonite Missions, 1850–1999* (2000), and *Changing Frontiers of Mission* (1999). He was a consulting editor of the *Dictionary of Mission Theology: Evangelical Foundations* (2007) and the *History of the American Society of Missiology, 1973–2013* (2014). 他多数。

鎌田 泰行 かまた・やすゆき

キリスト者学生会国際担当主事。保守バプテスト同盟御徒町キリスト教会会員。

国際基督教大学教養学部社会科学卒業。University of Chicago Master of Arts Program in the Social Sciences (MA in Social Sciences) 修了。North Park Theological Seminary (M.Div) 修了。InterVarsity Christian Fellowship/USA 主事, 日本同盟基督教団土浦めぐみ教会協力教師を経て現職。

吉 田 隆 よしだ・たかし

仙台キリスト教連合被災支援ネットワーク「東北ヘルプ」代表。日本キリスト改革派仙台教会牧師を経て, 現在, 神戸改革派神学校校長。日本キリスト改革派甲子園教会牧師。

東北大学, 神戸改革派神学校, プリンストン神学校 (Th.M.), カルヴィン神学校 (Ph.D.) 卒業。

〔著書〕『カルヴァンの神学と霊性——来るべき生への瞑想』(新教出版社), 『これからの福祉と教会』(共著, いのちのことば社), ほか。

〔訳書〕『ハイデルベルク信仰問答』(新教出版社), ビエルマ他『ハイデルベルク信仰問答入門』(教文館), ラッド『新約聖書と批評学』(共訳, いのちのことば社)。

米内 宏明 よない・ひろあき

Sola代表。日本バプテスト教会連合理事長，JCFN理事長，国分寺バプテスト教会牧師。
〔著書〕『見上げる空——「被災地」から見える教会の姿』（いのちのことば社，2014年）。

小田 武彦 おだ・たけひこ

1953年生まれ。上智大学文学部哲学科卒業。上智大学神学部神学科および上智大学大学院神学研究科博士前期課程修了。教皇庁立グレゴリアン大学大学院宣教学部修士課程および博士課程修了。博士（宣教学）。日本カトリック宣教研究所研究員，英知大学教授を経て，現在，聖マリアンナ医科大学特任教授。カトリック大阪大司教区司祭。

〔著書〕*I «Nuovi Movimenti» nelle Comunità Parrocchiali Giapponesi: Verso l'Inculturazione della Chiesa in Giappone* (Typis Pontificiae Universitatis Gregorianae, Romae 1988)。

〔共著〕カトリック中央協議会事務局編『カトペディア'92』（カトリック中央協議会，1992年），The General Secretariat Catholic Bishops' Conference of Japan, *The Catholic Church in Japan—An Historical Overview* (The Catholic Bishops' Conference of Japan, 1995)，The General Secretariat Catholic Bishops' Conference of Japan, *Catholic Church in Japan—Present Structure and Activities* (The Catholic Bishops' Conference of Japan, 1996)，カトリック中央協議会福音宣教室編『歴史から何を学ぶか——カトリック教会の戦争協力・神社参拝』（新世社，1999年），景山あき子ほか『カトリックの信仰生活がわかる本』（女子パウロ会，1999年），佐久間勤編『いやしの福音——いまキリストが語りかけるもの』（サンパウロ，2000年），J. Kavunkal SVD, E. D'Lima SJ, M. Jayanth SJ, eds., *Church in the Service of Asia's Peoples* (Jnana-Deepa Vidyapeeth Publications, 2003)，「カトペディア2004」編集委員会編『カトペディア2004』（カトリック中央協議会，2004年），オリエンス宗教研究所編『典礼奉仕への招き——ミサ・集会祭儀での役割』（オリエンス宗教研究所，2005年），関西学院大学キリスト教と文化研究センター編『ミナト神戸の宗教とコミュニティ』（神戸新聞総合出版センター，2013年）。

篠原 基章 しのはら・もとあき

1975年生まれ。東京基督教大学神学部卒業。日本国際飢餓対策機構の働きを経て，米国・カルヴィン神学校修士課程（組織神学），トリニティー神学大学院博士課程修了（宣教学）。現在，東京基督教大学神学部助教。

〔論文〕「宣教の民としての教会論——福音派の宣教の神学における宣教的教会論の意義を巡って」（『宣教学ジャーナル』第8号，2014年），「宣教と教会——20世紀の宣教思想史を踏まえて」（『福音と世界』12月号，2015年）など。

森田 美千代 もりた・みちよ

1946年生まれ。国際基督教大学大学院修士課程教育学研究科修了（教育学修士）。ドルー大学神学部Master of Theological Studies修了（神学修士）。ドルー大学大学院博士課程アメリカの宗教と文化専攻修了（Ph. D.）。現在、聖学院大学大学院客員教授。

〔著書〕*Horace Bushnell on Women in Nineteenth-Century America* (University Press of America). 『「キリスト教養育」と日本のキリスト教』（教文館）、『ブッシュネル「キリスト教養育」の成立過程研究』（日本キリスト教団出版局）、『人間の生と教育』（創言社）ほか。

〔訳書〕ホーレス・ブッシュネル『キリスト教養育』（教文館）、『理想の大学』（創言社）ほか。

〔論文〕“Horace Bushnell on Women in Family, Church, and Nation in Nineteenth Century Christian America.” Ann Arbor: University Microfilms International, 1999. 「ホーレス・ブッシュネル研究——『キリスト教養育』をめぐって——」（教授資格論文）ほか。

村上 純子 むらかみ・じゅんこ

慶應義塾大学文学部人間関係学科心理学専攻卒。アメリカ、ホイートン大学大学院臨床心理学科修士課程修了、聖学院大学アメリカ・ヨーロッパ文化学科博士課程修了（学術博士）。北千住旭クリニック、淀川キリスト教病院精神科などに心理士として勤務。中学校・高等学校のスクールカウンセラーを務めたのち、現在、聖学院大学人間福祉学部こども心理学科准教授。赤坂グリーンフケア・ルームにて心理相談も行っている。臨床心理士。

〔著書・論文〕『子育てと子どもの問題』キリスト教カウンセリングブックレット16（キリスト新聞社、2009年）、『牧会相談の実際——カウンセラーと共に考える』（共著、あめんどう、2014年）、「グリーンワークとしての関係性の構築（一）・（二）」（共著、『聖学院大学総合研究所紀要』60号、2015年）など。

竹淵 香織 たけぶち・かおり

聖学院大学人間福祉学部こども心理学科准教授、聖学院大学学生相談室副室長・カウンセラー。自由学園最高学部非常勤講師。臨床心理士、臨床発達心理士。

〔著書・論文〕『発達障害のある学生支援ケースブック——支援の実際とポイント』（共著、ジアース教育新社、2007年）、『死別の悲しみを学ぶ』臨床死生学研究叢書3（共著、聖学院大学出版会、2011年）、「グリーンワークとしての関係性の構築（一）・（二）」（共著、『聖学院大学総合研究所紀要』60号、2015年）など。

寺崎 恵子 てらさき・けいこ

お茶の水女子大学文教育学部教育学科卒業。お茶の水女子大学大学院人文科学研究科修了。埼玉純真女子短期大学、群馬大学工学部、獨協医科大学付属看護学校、明治学院大学文学部の非常勤講師を務めた。2008年より聖学院大学人間福祉学部児童学科助教、2013年より同学科准教授。

〔論文〕「ルソー『ダランペール氏への手紙』における instruction」『教育学研究』第66巻第4号（日本教育学会、1999年）ほか。

齊藤 伸 さいとう・しん

1983年東京都生まれ。聖学院大学大学院アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科博士後期課程修了。博士（学術）。現在、聖学院大学基礎総合教育部ポスドクター。

〔著書・論文〕『カッシーラーのシンボル哲学——言語・神話・科学に関する考察』（知泉書館、2011年）、「カッシーラーにおけるヘルダーの『言語起源論』——「内省」の概念が『シンボル形式の哲学』に与えた影響をめぐって」（『ヘルダー研究』第17号、2012年）、「共同感情と間主観性理論——マックス・シェラーにおける他我知覚の四区分」（『聖学院大学総合研究所紀要』52号、2012年）、「カッシーラーにおける文化哲学としての哲学的人間学の理念——シェラーの人間学との比較的視点から」（『聖学院大学総合研究所紀要』58号、2014年）。

小林 茂之 こばやし・しげゆき

東京大学大学院総合文化研究科言語情報科学専攻博士課程博士論文提出資格取得、単位取得退学。2003年より聖学院大学人文学部日本文化学科所属、2016年4月より同教授。2012～13年度ケンブリッジ大学クレアホールコレッジ客員研究員として英国ケンブリッジに滞在。2013年より同コレッジ終身メンバー。英語歴史言語学、通時統語論、比較統語論専攻。主な研究テーマは、古英語・中英語における言語変化。初期英語のキリスト教文献を中心に、文献学にも研究を進めている。

ブライアン・バード Brian Byrd

2003年より聖学院大学総合研究所特任講師。イエール大学神学部を1984年に卒業後、日本で宣教師として活動。子供英語教育にも携わっており、英語バイブルクラスで教えている。論文“Toyohiko Kagawa: A Sympathetic and Critical Study of a Japanese Christian Leader”（聖学院大学大学院、2012）で博士学位を取得。

〔論文〕 Byrd, B. and J. P. Loucky, “Toyohiko Kagawa and Reinhold Niebuhr: The Church and Cooperatives,” *Journal of Interdisciplinary Studies: An International Journal of Interdisciplinary and Interfaith Dialogue*, Vol. XXVIII, No. 1/2 (Nov), 2016 ほか。